

2026年3月期 第1四半期決算短信[日本基準](連結)

2025年8月4日

上場会社名 株式会社湖池屋 上場取引所 東

コード番号 2226 URL https://koike-ya.com/

代表者 (役職名)代表取締役会長 (氏名)小池 孝

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 経営管理本部長 (氏名) 大島 広昭 TEL 03-3979-2116

配当支払開始予定日

決算補足説明資料作成の有無 : 無 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第1四半期の連結業績(2025年4月1日~2025年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利	J益	経常和	J益	親会社株主に 四半期紅	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第1四半期	15,009	1.7	701	40.4	694	42.8	333	46.6
2025年3月期第1四半期	14,764	14.5	1,175	38.7	1,213	37.2	624	11.3

(注)包括利益 2026年3月期第1四半期 397百万円 (49.0%) 2025年3月期第1四半期 779百万円 (13.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円銭	円鈞
2026年3月期第1四半期	31.23	
2025年3月期第1四半期	58.53	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期第1四半期	39,824	19,221	47.2
2025年3月期	39,055	19,410	48.8

(参考)自己資本 2026年3月期第1四半期 18,789百万円 2025年3月期 19,075百万円

2. 配当の状況

		年間配当金					
	第1四半期末 第2四半期末 第3四半期末 期末 合計						
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭		
2025年3月期		0.00		55.00	55.00		
2026年3月期							
2026年3月期(予想)		0.00		55.00	55.00		

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年 3月期の連結業績予想(2025年 4月 1日~2026年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上	。	営業和	川益	経常和	引益	親会社株主に 当期純		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	63,600	7.1	4,150	3.2	4,100	2.1	2,700	4.2	253.10

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P.8「2.四半期連結財務諸表及び主な注記(3)四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無以外の会計方針の変更 : 無会計上の見積りの変更 : 無修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む) 期末自己株式数 期中平均株式数(四半期累計)

2026年3月期1Q	10,670,000 株	2025年3月期	10,670,000 株
2026年3月期1Q	2,222 株	2025年3月期	2,222 株
2026年3月期1Q	10,667,778 株	2025年3月期1Q	10,667,778 株

添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大き〈異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.3「1.経営成績等の概況(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1.	経営	営成績等の概況	2
	(1)	当四半期の経営成績の概況	2
	(2)	当四半期の財政状態の概況	3
	(3)	連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2.	四当	半期連結財務諸表及び主な注記	4
	(1)	四半期連結貸借対照表	4
	(2)	四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
		四半期連結損益計算書	6
		四半期連結包括利益計算書	7
	(3)	四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
		(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)	8
		(セグメント情報等の注記)	8
		(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
		(継続企業の前提に関する注記)	9
		(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間は、国内においては、「湖池屋プライドポテト」を代表とする高付加価値商品の拡売を続けながら、「湖池屋ポテトチップス」や「スコーン」などのロングセラーブランドの販売が好調に推移しました。

一方で、昨今の気温上昇に起因する馬鈴薯品質の悪化に伴い、馬鈴薯歩留が想定を大きく下回ったため、製造コストが著しく増加しました。また、その他原材料費などの高騰や賃上げ実施・人員増加による人件費増加などの影響も相まって、増収減益となりました。

海外においても、各国においてコスト増加の影響による利益圧迫影響が大きく、減収減益となりました。業績は 次のとおりです。

売上高は、15,009百万円(前年同期比1.7%増)となりました。利益につきましては、営業利益701百万円(前年同期比40.4%減)、経常利益694百万円(前年同期比42.8%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益333百万円(前年同期比46.6%減)となりました。

セグメント別の業績は以下のとおりです。

<国内>

2026年3月期は、「高付加価値商品等の継続拡販」「継続的な新機軸商品開発」「中部工場稼働による生産能力拡大と物流効率改善」を、戦略テーマのメインに据え事業展開を進めております。

商品戦略としては、高付加価値ブランドにおいて、継続的な新商品発売などによって引き続き市場定着に取り組み、加えてロングセラーブランドの売上拡大も進めながら、湖池屋ブランド全体の価値向上に取り組んでおります。

当第1四半期連結累計期間においては、前連結会計年度にリニューアルを実施し、"味付け量3倍"の濃厚で贅沢な味わいを訴求するパッケージ・味へと進化した、「湖池屋ストロング」の販売が大変好調に推移しました。また、ロングセラーコーンスナックである「スコーン」においては「絶品焼きとうもろこし」が非常に好調で、ブランド全体で前年同期に比べて大きく売上を伸ばしました。

また、新市場創造も継続して取り組んでおります。ジャパニーズカルチャーの価値を訴求することで、インバウンド需要を獲得すべく開発した「UMAMIカラムーチョ」「UMAMIすっぱムーチョ」をテスト発売するなど、市場開拓に取り組んでおります。

一方、原材料費や人件費などの各種コスト増加の影響は引き続き大きく、コスト削減施策の継続と、中部工場稼働に伴う物流効率改善を計画しております。

以上のとおり、売上を拡大しながらもコスト増加の影響が大きく、国内の売上高は13,524百万円(前年同期比2.0%増)となり、セグメント利益は547百万円(前年同期比40.0%減)となりました。

<海外>

海外事業においては、各国で売上拡大に努め堅調に推移しているものの、世界的なコスト上昇の影響を受け、利益面では厳しい状況が続いております。

台湾事業では大手小売チェーンの販促施策に加え、OEM価格の高騰が想定以上のコスト増加を招き、利益を圧迫する要因となりました。ベトナム事業では、輸出事業の継続的な展開に加え、ベトナム国内市場への新商品投入も積極的に行っておりますが、利益面は期待を下回る結果となっています。タイ事業においては、既存商品の販売は好調で、新規販路開拓も奏功しているものの、利益面ではまだ力強さを欠く状況です。

このような状況下、海外事業全体の売上高は1,485百万円 (前年同期比1.0%減)、セグメント利益は162百万円 (前年同期比38.1%減) となりました。今後は、価格転嫁、高付加価値商品へのさらなるシフト、コスト削減などの対策を強化するとともに、2025年6月に設立したアメリカ法人を新たな成長エンジンとして、海外事業全体の収益改善を図ってまいります。

(2) 当四半期の財政状態の概況

総資産は、前連結会計年度末に比べ769百万円増加し、39,824百万円となりました。主な要因は、受取手形及び 売掛金の減少(1,658百万円)の一方、建設仮勘定の増加(1,970百万円)及び現金及び預金の増加(1,375百万 円)によるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べ958百万円増加し、20,603百万円となりました。主な要因は、返金負債の減少 (817百万円) の一方、長期借入金の増加 (1,335百万円) 及び買掛金の増加 (695百万円) によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ188百万円減少し、19,221百万円となりました。主な要因は、利益剰余金の減少(253百万円)によるものであります。なお、自己資本比率は47.2%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2025年5月8日に公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

-	<u> </u>		_	-	-1	
(畄布	· 1	一白	\vdash	Щ١	

		(単位:白万円)
	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3, 567	4, 943
受取手形及び売掛金	10, 736	9, 078
商品及び製品	1, 927	1, 785
仕掛品	10	51
原材料及び貯蔵品	1,608	983
その他	713	786
貸倒引当金	$\triangle 6$	$\triangle 6$
流動資産合計	18, 558	17,622
固定資産		,
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4, 563	4, 511
機械装置及び運搬具(純額)	5, 268	5, 052
土地	2, 768	2, 768
建設仮勘定	5, 390	7, 361
その他(純額)	156	156
有形固定資産合計	18, 148	19, 849
無形固定資産		21,121
その他	229	216
無形固定資産合計	229	216
投資その他の資産		
その他	2, 119	2, 135
投資その他の資産合計	2, 119	2, 135
固定資産合計	20, 497	22, 202
資産合計	39,055	39, 824
負債の部		00,021
流動負債		
買掛金	4, 846	5, 541
短期借入金	500	500
未払金	1, 937	1,853
返金負債	3, 082	2, 265
未払法人税等	446	253
賞与引当金	470	46
役員賞与引当金	_	5
その他	1, 024	1, 478
流動負債合計	12, 308	11, 944
固定負債		,
長期借入金	4, 711	6,047
退職給付に係る負債	1, 892	1,891
その他	732	719
固定負債合計	7, 336	8,658
負債合計	19, 645	20, 603
7100 H FT	13,010	20,000

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2, 269	2, 269
資本剰余金	2, 153	2, 153
利益剰余金	14, 521	14, 268
自己株式	△4	$\triangle 4$
株主資本合計	18, 941	18, 687
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	8	9
為替換算調整勘定	165	127
退職給付に係る調整累計額	△39	△35
その他の包括利益累計額合計	133	101
非支配株主持分	335	432
純資産合計	19, 410	19, 221
負債純資産合計	39, 055	39, 824

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 (四半期連結損益計算書)

		(単位・日ガロ)
	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
売上高	14, 764	15, 009
売上原価	9, 957	10, 684
売上総利益	4, 807	4, 324
販売費及び一般管理費	3, 631	3, 623
営業利益	1, 175	701
営業外収益		
受取利息	1	2
受取配当金	9	11
持分法による投資利益	_	1
為替差益	22	_
その他	6	5
営業外収益合計	40	20
営業外費用		
支払利息	1	12
持分法による投資損失	0	_
為替差損	_	12
その他	1	1
営業外費用合計	3	26
経常利益	1, 213	694
特別損失		
棚卸資産廃棄損	272	207
特別損失合計	272	207
税金等調整前四半期純利益	940	486
法人税等	239	94
四半期純利益	701	391
非支配株主に帰属する四半期純利益	76	58
親会社株主に帰属する四半期純利益	624	333

(四半期連結包括利益計算書)

		(1 2 1 1 / 4 1 4 /
	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
四半期純利益	701	391
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	$\triangle 0$	1
為替換算調整勘定	67	8
退職給付に係る調整額	3	4
持分法適用会社に対する持分相当額	7	△8
その他の包括利益合計	78	5
四半期包括利益	779	397
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	687	300
非支配株主に係る四半期包括利益	91	96

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会等が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、スナック菓子の製造販売を中心に事業活動を展開し、「国内」、「海外」の2つを報告セグメントとしております。

「国内」は当社が、「海外」においては在外連結子会社が、それぞれ独立した経営単位で事業活動を展開しております。

2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報 前第1四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

		報告セグメント	調整額	四半期連結 損益計算書	
	国内	海外	計	(注) 1	計上額 (注) 2
売上高					
顧客との契約から生じ る収益	13, 262	1, 501	14, 764	_	14, 764
その他の収益	_	_	_	_	_
外部顧客への売上高	13, 262	1, 501	14, 764	_	14, 764
セグメント間の内部売 上高又は振替高	18	196	215	△215	_
∄ +	13, 281	1, 698	14, 979	△215	14, 764
セグメント利益	911	262	1, 173	1	1, 175

- (注) 1. セグメント利益の調整額1百万円はセグメント間取引消去であります。
 - 2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

(単位:百万円)

		報告セグメント	調整額	四半期連結 損益計算書	
	国内	海外	<u></u>	(注) 1	計上額 (注) 2
売上高					
顧客との契約から生じ る収益	13, 524	1, 485	15, 009	_	15, 009
その他の収益	_	_	_	_	-
外部顧客への売上高	13, 524	1, 485	15, 009	_	15, 009
セグメント間の内部売 上高又は振替高	17	120	138	△138	_
計	13, 541	1,606	15, 148	△138	15, 009
セグメント利益	547	162	709	△8	701

- (注) 1. セグメント利益の調整額△8百万円はセグメント間取引消去であります。
 - 2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) 該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記) 該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日) 当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

減価償却費 345百万円 337百万円